



奉仕を通じて
平和を
田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長
【2012-2013年度RIテーマ】

FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB
藤枝南ロータリークラブ会報
例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
E-mail:club1991@fujieda-rotary.org
会長：村松 章隆 副会長：早川 清人 幹事：内山 淑夫 副幹事：松浦 正秋
第1032回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 我ら日本のロータリアンの歌・さくらさくら
- ソングリーダー 中山 恵喜君

会長報告

村松 章隆君

皆さんこんにちは！ 来る3月22日(金)懇親会23日会議PETS(会長幹事エレクトセミナー)又、来る4月22日地



区協議会が静岡にて開催されますので、次年度の役員の方はよろしくお祈いします。

さて、話は変わりますが、このシーズンになりますと、私は、高校時代を思い出します。県外は、秋田商業、帝京高校、島原商業、地元清水東、清水商業、その他沢山のチームが来藤して、練習試合を行います。又この前お話ししましたように、新入部員も入ってくる時期ですので、新チームの始まりがスイッチオンに入る時期です。来藤することによって、ホテル・旅館が潤い、飲食店にも売上増になり、お土産も売れることになります。

振り返りますと、強くないと来ないし、その当時は、日本一の長池監督がいましたので、帝京高校の小沼監督、小峰(後の国見高校監督)監督は、長池監督の指導を受けて、帰られました。当然、夜は飲食をしながら、要するに、名監督の元に集まってくるのです。

小沼監督は因みにサッカー経験はありません。しかし、名門帝京高校を創り名将として有名人になっております。又、小峰監督は皆さんご存じの通り国見高校を名門に創り上げました。

藤枝には、長池先生のような監督がいれば、もっともっと人が集まって、必然的に経済効果がでると思います。素晴らしい指導者が出てくることを期待したいと思います。

最後に、会員旅行の件ですが、出席状況がちょっと悪いようですので、是非、時間をつくって参加くださるようお願い申しあげて、会長挨拶いたします。

幹事報告

内山 淑夫君

- ガバナー補佐事務所より IMのお礼文が届いております。
- 2660地区より 地区協議会案内が届いております。
- 2620地区より 活動報告が届いております。静岡第6分区IMが静岡新聞に掲載されました。
- 2620地区より クラブ広報ガイドブックとニュースレター第88号が届いております。
- (公財)米山記念奨学会より ハイライトよねやま156号と賛助会員募集の案内が届いております。

出席報告

望月 誠君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
31 / 43 72.09%	34 / 43 79.69%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

朝比奈君 稲葉君 桑原君 小池君
樽井君 寺田君 森竹君 渡邊芳君
池谷君 川口君 佐野裕君 早川君

(2)メイクアップ者

朝比奈 潔君(焼津) 渡邊 芳隆君(焼津)
漆畑 雄一郎君(静岡西)
森竹 正晃君(焼津・静岡西)

スマイルBOX

森竹 正晃君

- 去る3月5日に、県の経営革新の認証を頂きました。3点セット(藤の花蒔絵風万年筆 蒔絵風万年多機能ペン 12ヶ月のお手紙まわりの本)をプレゼントして合格しました。

村松 章隆君

- 三男が静岡高校に合格しました。やれやれです。
- 誕生日プレゼントありがとうございました。遅くなりまして誠に申し訳ありません。

植田 裕明君

- 妻の誕生日プレゼントありがとうございました。
- 結婚記念日のお祝いありがとうございました。

藪崎 宰一君

スマイル累計額 474,332円

■ 会員卓話

杉浦 良一君



■冒頭

改めましてこんにちは。1月に入会させて頂きました杉浦です。本日はよろしくお願い致します。入会して2カ月ほど経ちましたが、慣れたような、そうでないようなそんな感じです。

入会については『基本1業種1人』ということや、理事で反対する方がいると入会出来ないということを知っていましたので、皆さんのお仲間に入れて頂いてうれしく思っております。

お誘いを受けた当初はロータリーの様子が分からず二足を踏んでいましたが、返事を濁しているうちに『誘われているうちが花だよ』とさりげなく言われ、「ちゃんと返事しないと怒られそうだな」と思い、急いで返事をしました。

親父が昨年までお世話になっておりましたが、実際ロータリーってどんなことをしていたのか？よく分かっていませんでした。でも、『この年まで好きでやっていたようなので何かあるんだろうな』とは感じていました。

それとこの年に入っていいものかどうか悩んだ部分はありますが、ご近所さんでもある鈴木健

夫先輩がいるのも心強く感じて入会の返事をしました。ことあるごとに「1日でも早く入ったら先輩だからな」と言われます。鈴木先輩今後ともご指導よろしくお願い致します。

本日は自己紹介ということで、(株)杉浦純商店の事業紹介と、会社の沿革と、私個人の社会人になるころのエピソードを交えてお話しさせていただきます。つたない話になろうかと思いますが宜しくお願い致します。

沿革については話が飛んで(笑)しまわないようにパワーポイントを使って時系列で表示致しますので少しご参照下さい。パワーポイントを使ったことがなかったので、この日のためにちょっと勉強して使ってみました。

■事業内容

(株)杉浦純商店は鉄鋼販売業です。地域密着型の商売で、静岡県中部地区を中心に約400社のお客様とお付き合いしております。

会社名が杉浦純という個人名になっているので、「何やってる会社なの?」とか、よく倉庫が立ち並ぶので「工場なの?」とか、以前に会社の外壁にも鉄の製造工程を書いていたこともあり、「鉄を作っているの?」と聞かれることがありますが、作っていません。以前近くの小学校から「社会見学出来ますか?」と問合せあって誤解を招いていたようです(笑) 実際、鋼材の切断加工などは行っておりますが、基本流通販売業です。位置付けは鉄鋼2次卸問屋です。

会社の名前ですが、今も昔と変わらず古い「のれん」でやっていますが先代の社長の時に社名変更の話が出たようです。「杉浦鋼材」とか、「杉浦鉄鋼」とか、「杉浦スチール」とか横文字もあったようですが、社長が杉浦純の名前を気にいって断固反対したようです。

得意先からも『杉浦さん』ではなく『純さん』と親しみを込めて呼んで頂いている先もあるのでこれからもこの名前でのじいさんの名前に泥を塗らないように経営したいと考えております。

続いて、会社の取扱商品の紹介ですが、3つの柱があります…

■営業品目

1. 鋼材、鉄鋼二次製品及び非鉄金属

1番目は一般鋼材です。棒鋼・形鋼・鋼板・鋼管などです。主にH形鋼などの建物の支柱になる

材料や、建物の基礎に使われる異形鉄筋が代表的な商品になります。

異形鉄筋は、アネハの耐震偽装事件での一件で、皆さんにもなじみのある材料だと思います。コンクリートの基礎に使用される材料で、施工後はコンクリートの中で見えなくなるため確認出来ず、こんなようなことがあったようです。この事案をきっかけに検査が厳格になり商品販売についても品質検査証明書の添付が厳しくなりました。余談ですが、鉄筋は他の材料と異なり必ず刻印があり、メーカー、規格がその刻印で判別出来るようになっていきます。コンクリートを打つ前であれば、お施主さんでも確認が取れます。

ちなみに浜岡原発の防潮堤には約 5 万トンの鋼材が使用されており、10tトラックで5,000回分の鋼材が納入されています。ちょっとピンときませんが相当量です。

まさに鉄が原発を守っているといっても過言ではありません。

お客様は建築土木関連の方と、製造業のお客様が多く、地場の製造業では、製茶機械、製材、電気、自動車、食品関連など多様な産業機械向けの材料を販売しております。

鉄鋼二次製品は、表面処理鋼板や曲げ加工をした材料の総称で、主に製造業向けが中心で表面処理鋼板は最近ではマンションの扉・建具向けや、コンビニのショーケース・鋼製家具向けなどで使われます。

非鉄金属はステンレス・アルミ・銅・鉛・たまにチタンなんて注文もあります。金銀プラチナのような地金以外は扱いはあるといった感じです。

2. 建築資材

2つ目は鉄以外の商品で住宅関連の部材を扱っています。塩ビ管・雨トイ・波トタン板・釘・番線などですが、主に大工さん・板金屋さん向けの商品です。

3. 仮設鋼材リース

3つ目は鋼矢板・H形鋼・敷鉄板など、工事現場で使用する仮設材の窓口業務も行っております。仮設材は東日本大震災後、北関東や東北地方を中心に品不足や需要が多くなっている品種もあります。扱い商品説明はざっとこんなところですよ。

ここからは会社の沿革をご紹介します...

昭和 26 年 4 月 杉浦純が個人営業の「杉浦商店」を創業

昭和 26 年 4 月初代杉浦純（明治 41 年生まれ）が「杉浦商店」を起業します。杉浦純は私の祖父です。11 人兄弟の 9 番目です。当初は住宅のあった青木の地で商売を始めましたが、スタート時点ではまだ「鉄」の販売をしていませんでした。初めは建築資材のようなものやトイなどの樹脂製品を売っていたようです。

昭和 28 年 4 月 鋼材販売を開始

その後、トタン板の販売を始めだんだん鉄に関わるニーズが出てくるようになり、青木の場所では手狭になり、現在地の志太に越してきて本格的に鋼材販売に移行していったそうです。

昭和 38 年 10 月 現在地へ事務所及び倉庫を移転

越してきた当初、青島東小学校はありましたが、他に目立った建物はなく、周りは田んぼだらけで、前の道路もまだ舗装されていなかったそうです。

越してきた当初は事務所と倉庫 2 棟あったそうですが、車輜は 3 輪車（2t？）が一台あるだけで、倉庫内は天井クレーンもなく全てが人海戦術で作業が行われていたそうです。

近くの配達で少し重い材料はリアカーで、50kg位の1本2本位のもので担げるものは自転車で配達したそうです。駅南の線路を越えたあたりまでは普通に自転車やカブで配達したそうですが、今では到底考えられない仕事ぶりです。

私がこの会社に入社するころまでは、その当時使っていたサビサビのリアカーが記念品のように場内に置かれていました。処分しちゃいましたけど、今考えると当時の苦勞が分かる品物だったのでとっておいても良かったかなと思ったりします。

当時社長の弟たちは高校の部活で野球をやっていたそうですが、だんだん仕事が忙しくなっていた関係で、おじいちゃんに勝手に部活を辞めさせられて、放課後は家の仕事の手伝いをさせられていたそうで、夕方遅くまでやって毎日クタクタだったとよくばやいていました。

その内に少し重量のある鋼材が売れるようになり、「このままでは体がもたんし、商売にならん」ということで、クレーンを買ひ、車輜も買ひ、設備を増やしていったようです。

昭和42年7月 「株式会社 杉浦純商店」を設立

昭和42年7月経済が成長する中、株式会社に組織変更して会社設立となり、実質杉浦良一の男三人兄弟で会社を運営していったようです。

昭和43年3月 現在地に5.6号倉庫を増築

在庫場所も狭くなり徐々に増築です。鉄鋼二次製品の薄板の販売を始めたころです。

昭和43年10月 杉浦聡生まれる

会社が忙しくなっていく中、父杉浦良一、母杉浦涼子の三男として杉浦聡が生まれます。ちなみに母は『藤枝の小柳ルミコ』と呼ばれています。父は80歳、母は78歳、私は現在44歳です。

昭和45年4月八幡製鉄と富士製鉄が合併して新日本製鉄(株)が誕生する

緑の字は時事ネタですが、鉄鋼業界では八幡製鉄と富士製鉄が合併して新日本製鉄(株)が誕生します。国内最大手の高炉メーカーの誕生となり、昭和の大合併と言われています。

昭和45年7月 第7号倉庫増築

昭和45年7月に倉庫を新たに増築します。建築関連の需要が多く、長尺の材料を在庫するために奥行き長い倉庫を建築しました。

昭和45年10月 新日本製鉄(株)から特約店表彰を受ける

昭和45年10月に新日本製鉄(株)から特約店表彰を受けました。その当時、新日鉄(株)製のH形鋼をたくさん販売し、新日鉄(株)本社で表彰を受けたそうです。

今でも語り草になっているのですが、当日雨が降っていたそうで、杉浦純はジャンパー姿に長靴のいでたちで表彰式に参加したそうです。本社の担当者に「表彰式でそんなかっこうで来た人はお宅が初めてだ、次回はスーツで来て下さい」と小言を言われたという笑話があります。ちなみに後にも先にも表彰式に出たのはこれっきりだったそうです。

昭和46年3月 事務所棟新築

商売は右肩上がりだったようで、追われるように倉庫、事務所などを増築しお客様のニーズに合う販売体制を整えていったようです。従業員もかなり増え、社内にはソフトボールチームもあり会社としての一体感もあったようです。

昭和50年7月 杉浦良一が2代目社長に就任する

昭和50年7月に杉浦良一が社長に就任します。杉浦良一は5人兄弟の長男です。東京のユアサ商事で修業を積み、その後家業を継いでいますが、子供心に毎日汗を流して働いている父親が頼もしく見えていました。毎晩晩酌で瓶ビールをランニングシャツ1枚で飲む姿をみて、なんてうまさうなんだと思ったのを記憶しています。

昭和51年1月 初代杉浦純が他界する

2代目が社長就任から約半年後、杉浦純が他界します。杉浦純は持病である糖尿病の関係でかなり長い闘病生活を送っていました。腎不全のため、人工透析が必要な体でしたが当時この限界で人工透析してくれる病院がなく、紹介で千葉医大付属病院に行くことになり、千葉に借家を借りてそこから約3年間通院をしておりました。

晩年は静岡の済成会病院で透析を受けられるようになり帰郷しましたが、最後は風邪をこじらせて肺炎で亡くなりました。私が小学校1年生のころですが、直接接していた記憶はあまりないのですが、写真にはちゃんと遊んでくれていた様子が残っていました。やっと千葉から帰ってきた矢先の出来事で、ただただ悲しかったことを覚えています。

昭和57年3月 第8号・9号倉庫増築

昭和57年3月に8.9号倉庫を増築して今の倉庫の形になっています。規模の拡大という部分ではこの辺がピークだったようです。

平成3年4月 伊勢丹に就職

この辺から私個人の話も交えてお話しするようになりますが、私は男3人兄弟の三男坊です。私も大きくなり、この辺からだんだん兄貴たちの様子が見えてきて、どうも家業を継がないのでは？という雰囲気は家族の中でも感じられるようになりました。

私が就職活動をする際も「よそへ出ないでそのまま家業を手伝いなさい」とか、兄貴たちが、修行の名のもとに外に出てはみたものの、いまだ家業を継いでいない厳しい現状から私にはすぐに帰ってこいという言葉が何度もありました。正直なところこのまま家に入っても世の中のことを幅広く知らないままでは使い物にならないだろうな...と考え、家族会議まであったのですが、両親の反対を押し切り、就職活動を再開し、(株)静岡伊勢丹に就職しました。

鉄鋼の業界で修業するという道が「王道」だっ

たかもしませんが、どうせ外に出るなら人の多い会社で揉まれて仕事をしたいと考え、鉄鋼関係に限らず、同じ「物を売る」という商売の百貨店を志望した訳です。

百貨店での仕事ですが、バブル経済の余韻にひたるような時期だったと思われます。地域格差はあったと思いますが、商売自体は活況でデパート商売は多忙を極めておりました。1年目は婦人服売り場に配属され、催事場での衣料品バーゲンが1週間で1億円の売上があり、「飛ぶように売れる」とはこのことかと思ったものです。

あわただしい1年間でしたが、顧客第一主義というお客様商売の基本を叩き込まれた期間であり、今の商売にも生かされていることを考えると、とても実りの多い1年でした。

2年目以降は外商部に配属されました。配属先はなんと富士で自宅から1時間30分かけて7年間通勤することとなりました。余談ですが、事務局の奥脇さんもこの時期伊勢丹に勤務していたようで、世間はせまいな～と感じております。

平成10年4月 ㈱杉浦純商店に入社

そんな中、平成10年の正月に「会社の金庫番が退職するのですぐに帰ってきて経理をやってくれ」という話があり、「そろそろ時期かな」という思いとも重なり伊勢丹を退職し、杉浦純商店に入りました。

会社は自宅の隣にあり、小さいころからおやじの働く姿をみてきたので何となく分かっているような気がしておりましたが、実際にはかなりギャップがありました。商習慣もさることながら、全てにおいてアナログで作業されており、効率の悪い作業が多く、場当たりの個人店特有の社風や、ローカルルールがあり、顧客ニーズに遅れているような対応もみられ、様々なことにおいて改善が必要な状況でした。会社の抱えている状況はいいとは言える状況ではありませんでしたが、そのおかげで「やらされる仕事ではなく、自らの意思でやる仕事が多く」経営者的な意識がここから持てるようになっていきました。

それと、経理ということもあり、簿記教室に通ったり、パソコン教室に通ったり、新しい環境に早く慣れるために行動しましたが、今でも慣れず苦労しています。

平成15年4月 川崎製鉄㈱と日本鋼管(NKK)が合併

川鉄とNKKが合併し、JFEスチール㈱が誕生します。国内2位のメーカーであり、平成25年度の粗鋼生産量では、世界第9位のメーカーです。輸出比率が高いメーカーで円安の恩恵が高い企業です。今の時期いい株式銘柄ではないでしょうか(笑)

平成18年8月 専務取締役に就任

入社後、8年目で専務取締役に就任、2年後にはリーマンショックがあり、対岸の火事だと思っていた出来事が実態経済を直撃し、足元の業況はあつという間に縮小したのが記憶に新しいです。直近で売上が3割減、その翌年には更に1割減、少し明るい兆しが見えてきたところで東日本大震災がおこり、間接的に地域経済が縮小し、経営環境は激変、役員として難しいかじ取りが要求される時期でした。

平成22年9月 3代目社長に就任

そんな中、平成22年9月に3代目社長に就任しました。

三男坊ではありますが、入社当初はどこかで自分がやるんだろうと、少し軽い感じで考えていましたが、今は覚悟ができています。『俺じゃなきゃ、この会社は成り立たない、会社に携わる方々の生活や笑顔を守るために先頭に立ってやり抜く』、そんな気持ちでやっています。

先代がこだわって守ってきた『杉浦純』の看板にドロを塗ることなく『鉄を通じて地域社会に貢献』を经营理念に、私だけにしか出来ない会社経営で社業を発展させたいと考えております。

平成24年10月 新日本製鉄㈱と住友金属工業㈱が合併

新日鉄と住金が合併し、新日鉄住金㈱が誕生します。平成25年の粗鋼生産量では暫定世界第2位のメーカーとなりました。ひと昔前『鉄は国家なり』という言葉がありましたが、鉄鋼業復権の象徴となる話題となっています。

ちなみに世界1位はルクセンブルクに本社を持つアルセロール・ミタルという会社ですが、1位と2位の差は倍以上あるというのが現実です。

平成25年1月 藤枝南ロータリークラブに入会させて頂く

今後の目標ですが、良き経営者であり、良き父親であり、良きロータリアンでありたいと思います。今後とも精進して頑張りたいと思いますので改めてご指導ご鞭撻願います。

最後になりますが、私は妻1人、娘3人の父親です。女所帯で肩身のせまい思いをしておりますので皆さん仲良くして下さい。どうぞ宜しくお願い致します。

■ **今週の一言** 内藤 浩光君

「私の父と母」



● 例会プログラム ●

例会日	クラブ行事	摘要
3/22 (金) 第 1033 回	早朝例会	
3/29 (金) 第 1034 回	会員卓話	
4/6 (土) 第 1035 回	花見例会	
4/12 (金) 第 1036 回	外部卓話	
4/19 (金) 第 1037 回	地区協議会報告	

(担当 / 漆畑君)